

[ヒガンバナ（リコリス属）の仲間達]

2012年8月 片山繁朗

リコリス属は主として中国、日本に自生するヒガンバナ科の耐寒性球根植物で、約30種位の原種が発見されています。その内我が国には6~7種が自生するのみで、多くは中国大陸に自生しています。しかし一般に注目される様になったのは、比較的最近の事ですので、広大な中国大陸には未だ未知のリコリスが自生してるかも知れず、趣味家にとっては楽しみが尽きません。

比較的入手しやすい原種

○ラジアータ (*Lycoris radiata*)

リコリスの代表種。別名曼珠沙華とも呼ばれ日本全国（岩手県南部を北限とし、豪雪地帯には見られない）いたる所の人里の近くに自生する真っ赤な花で、特に群生する姿が美しい。不稔。9月中旬咲き。日本、中国原産。

○アルビフローラ (*Lycoris albiflora*)

シロバナヒガンバナとも呼ばれ乳白色に淡いピンクがまじる。離れて見るとヒガンバナの白に見える。不稔。9月中咲き。日本原産。

○インカルナータ (*Lycoris incarnata*)

乳白色にライラックピンクの縞が入る。不稔。8月上旬咲き。中国原産。

○オーレア (*Lycoris aurea*)

純黄色、大輪の美花。稔性有り。9月下旬~10月上旬咲き。中国原産

○サンギネア (*Lycoris sanguinea*) 中国原産。

キツネノカミソリとも呼ばれ、橙色の細い百合型の花が開花する。幻の白花が有る。良く結実する。7~8月咲き。日本原産。

○スクアミゲラ (*Lycoris squamigera*)

夏水仙とも呼ばれる。ライラックピンク、大輪丸弁百合型の美花。不稔。7月中旬咲き。中国原産。

○スプレングリ (*Lycoris sprengeri*)

ラベンダーピンクに花弁先は純粋なスカイブルー。良く結実する。8月下旬咲き。中国原産。

園芸種

原種とは違った美しい改良種で、最近では通信販売や園芸店で入手が可能です。

種類を揃えれば7月~10月迄様々な色や形の花が楽しめます。

ジャクソニアーナ（ローズ系）、ウエキ（ローズ系）、ヒロイン（ピンク系）、さつま美人（朱桃系）、おおすみ（樺色系）、スプレングツネ（橙色系）、スノーフェアリー（白）、

ブルーパール（ラベンダー系）クリムソンキング（濃赤系）等々花型、開花期、花色の異なったヒガンバナが多数入手可能です。

その他の主な原種	学名	色	原産地
アンフィエンシス	anhuiensis	黄	中国
エルジアエ	elsiae	白系	中国
オオキツネノカミソリ	sanguinea v.kiushiana	橙系	日本
カルドウエリー	caldwellii	黄白	中国
ガンギシエンシス	guangxiensis	黄に紅筋	中国
シナヒガンバナ	radiata v.pumilla	赤	中国
シネンシス	chinensis	黄	中国
ショキズイセン	traubi	黄	台湾
ストラミネア	straminea	淡黄	中国
スペリー	sperryi	黄	中国
シャーキシエンシス	shaaxiensis	白に紅筋	中国
チェジュエンシス	chejuensis	橙白	韓国
ヘイワデー	haywardii	淡桃紫	中国
ホーデイシェリー	hoydysheri	乳白	中国
ムジナノカミソリ	sanguinea v.koreana	橙	韓国
ロンギチューバ	longituba	白	中国
ロンギチューバ フラバ	longituba v.flava	淡黄	中国

その他ヒガンバナ（radiata）,キツネノカミソリ（sanguinea）の八重咲き種も最近発見されています。